

【新規】乳幼児教育に ICT の導入を

◇事業目的

乳幼児期に ICT (Information and Communication Technology : 情報通信技術) に触れることができる環境を整え、子どもたちが豊かな感性を発揮し、子どもなりの好奇心や探究心を持ち、問題を見いだしたり、解決したりする力を育むとともに、将来の夢や可能性を広げる機会を設ける。

◇事業内容

対話機能を持ったコミュニケーションロボット「S o t a」を区立保育園・幼稚園に配置し、おしゃべりや絵本の読み聞かせ等、ロボットとのやりとりや触れ合いを通じて、ICT を体感してもらう。

◇事業予算 2, 7 5 1 千円

園児とおしゃべり
絵本の読み聞かせ
しりとり
歌やダンスの披露

etc.



コミュニケーションロボット
S o t a

導入することで

最新技術に興味関心をもち、
園児の将来の夢や可能性が
広がる



問い合わせ：子ども未来部 保育課長 電話 03-5742-6722

保育士の専門性向上

【新規】のびしなプロフェッショナルスクール

◇事業目的

保育園では新規採用職員を含めた若手職員が増加している。保育人材の育成を計画的に推進し、専門性の一層の向上を図るため「のびしなプロフェッショナルスクール」を開講する。

◇事業内容

1. 「のびのび育つ しながわっこ」の配布

品川区乳幼児保育・教育実践の手引き「改定第4版 のびのび育つ しながわっこ」(2019.3改定)を私立を含めた全保育施設に配布し、品川区の乳幼児教育に係る理念の浸透を図る。

2. 保育園保育士人材育成プラン「保育園職員に求められる専門性チェック」の実施

「のびのび育つ しながわっこ」の中身を実践するために必要な保育者に求められる専門性を、分野ごとにリスト化したチェックシステムを2018年に構築した。これは、チェックの結果がレーダーチャートで表示され、自身の強みと苦手な分野を一目で確認することができる。また、園全体の傾向も自動集計できるため、園長は自園の職員のスキルの傾向を把握し、職員研修への参加計画の立案や園内研修実施も行う。

3. 保育者向け研修の実施

保育者向け研修を、国が示す研修ガイドラインの8分野に基づき、「乳児保育」「幼児教育」「障害児保育」「食物・アレルギー対応」「保健衛生・安全対策」「保護者支援・子育て支援」「保育実践」「マネジメント」に再構築した。

「保育園職員に求められる専門性チェック」で確認した自分の苦手分野の研修を受講することで、スキルアップを図り専門性向上につなげる。

◇事業予算 9,083千円



「改定第4版 のびのび育つ しながわっこ」
ダイジェスト版



問い合わせ：子ども未来部 保育課長 電話 03-5742-6722

病児保育施設に対する運営支援

◇事業目的

区では、就労している保護者が病気の子どもを家庭で保育することが困難な場合に、一時的に保育する病児保育事業を実施している。

4 施設に拡充する病児保育施設に対し運営支援を行い、保護者の子育てと就労の両立を支援する。

◇事業内容

1. 医療機関併設型（3 施設）

(1) 病児保育 チャイルドサンタ

2012 年開設・小山 3-1-2・定員 8 人

(2) おおしまこどもクリニック附属病児保育室 ひだまり

2018 年開設・南大井 3-16-11・定員 8 人

(3) (仮称) こどもの森クリニック病児保育室 森のおうち【新規】

2019 年開設・上大崎 3-3-1・定員 6 人

2. 保育所併設型（1 施設）

(1) (仮称) 病児保育室 こころキッズケア【新規】

2019 年開設・中延 2-6-4・定員 6 人

◇事業予算

64,217 千円



問い合わせ：子ども未来部 保育課長 電話 03-5742-6722

区立保育園の老朽改築・民営化

◇事業目的

昭和 30 年代から整備を進めてきた区立保育園は、現在築 50 年以上の保育園が 13 園、45 年以上の保育園が 14 園となるなど施設の老朽化が進んでいる。

施設の耐用年数等を考慮し、計画的な大規模改修・建替えを実施する。また、民間活力の活用、財政負担の軽減を図るため、区立保育園の民営化を行う。

◇事業内容

1. 区立保育園の老朽改築

老朽度、改修履歴、併設施設等を考慮し、移転先や代替地を確保しながら大規模改修・建替えを実施する。

2. 区立保育園の民営化

区立保育園は、今後も乳幼児教育の中核と位置づけ、当面 5 園程度（1 年あたり 1 園）を公設民営（運營業務委託）の手法により民営化を実施し、民設民営化を検討する。

3. スケジュール

| 対象施設 | 年度 | | | | | | |
|---------|-----------|-------|-----|------|------|-----|----|
| | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 |
| 八潮北保育園 | 大規模改修 | | | 民営化 | | | |
| 八潮西保育園 | 設計 | 大規模改修 | | | 民営化 | | |
| 三ツ木保育園 | 設計・仮設園舎設置 | | 民営化 | 建替工事 | | | |
| 南ゆたか保育園 | 建替工事 | | | | | | |
| 一本橋保育園 | | | | 建替工事 | | 民営化 | |
| 東大井保育園 | 設計・仮設園舎設置 | 建替工事 | | | | | |
| 大井保育園 | | | | | 建替工事 | | |

◇事業予算

953,768千円

(内訳)

| | |
|-------------|-----------|
| 八潮北保育園 | 529,305千円 |
| 八潮西保育園 | 18,333千円 |
| 三ツ木保育園 | 10,500千円 |
| 南ゆたか・一本橋保育園 | 375,406千円 |
| 東大井・大井保育園 | 16,700千円 |
| 民営化調査経費 | 3,524千円 |

問い合わせ：子ども未来部 保育施設調整担当課長 電話 03-5742-6037

私立保育園の新規開設支援等

◇事業目的

2018年4月現在、待機児童数は19人（昨年同期219人）まで減少したものの、乳幼児人口と入園申込者数は引き続き増加傾向にあり、保育ニーズはさらに高まる見込みである。今後も保育園開設事業者を積極的に誘致することによる受け入れ拡大が必要不可欠であるため、事業者に開設経費を補助する等の支援を引き続き実施して行く。

◇事業内容

1. 開設経費補助

国事業と都事業を活用し、保育事業者が支払う開設に要する施設整備費および開設前家賃の一部を補助する。

(1) 施設整備等補助（認可保育園）

対象経費上限：保育所の定員規模により設定（補助率：15/16）

(2) 開設前家賃補助（認可保育園）

対象経費上限：1施設あたり4,100万円（補助率：7/8）

2. 開設後家賃補助

国事業と都事業を活用し、保育事業者が支払う開設後の建物賃借料（共益費等を除く）と運営費補助等により賃借料加算として交付される額との差額の一部を補助する。

(1) 開設後5年以内（認可保育園等）

対象経費上限：年額4,500万円

（家庭的保育事業および小規模保育事業は2,250万円）

補助率：7/8（2017年4月開設園は15/16）

(2) 開設後6年以降（家賃が賃借料加算の3倍を超える認可保育園または賃借料加算の6倍を超える認証保育所のみ）

対象経費上限：年額2,200万円

補助率：3/4

3. 認可保育園への移行支援

都独自の基準により認証された認証保育所が、認可保育園へ移行するにあたり、認可基準を満たすために必要となる既存施設の改修経費等の一部を補助する。

対象経費上限：1施設あたり3,200万円（補助率：3/4）

◇事業予算 3,603,433千円

| | | |
|------|-----------------|-------------|
| （内訳） | 開設経費補助（認可保育園9園） | 2,364,412千円 |
| | 開設後家賃補助（認可保育園等） | 1,215,021千円 |
| | 認可保育園への移行支援（1園） | 24,000千円 |

問い合わせ：子ども未来部 保育支援課長 電話 03-5742-6540

【新規】 私立保育園の園外活動に区施設を提供

◇事業目的

品川区では、増大する保育需要に対応するため、私立保育園の開設を進めており、2016年度からの3年間で34園が開設した。これらの園は、近隣の公園を屋外遊戯場としている園が大半を占めており、園外活動ではひとつの公園を複数の保育園で譲りあって使用している状況である。

このような状況を踏まえ、園児がのびのびと身体を動かせるよう、屋外遊戯場の代替施設として区施設を利用してもらおう。

◇事業内容

私立保育園が園外活動を行うため、屋外遊戯場の代替施設として、文化センター等のレクリエーションホール、スポーツ室等を使用した場合に、使用料を全額補助する。

1. 対象施設

区内の私立認可保育所、小規模保育事業、認証保育所

2. 利用可能な区施設

- (1) 文化センター（5カ所）のレクリエーションホール、スポーツ室、スタジオ
- (2) スクエア荏原のアリーナ
- (3) こみゆにていぶらざ八潮のスポーツ室、グラウンド

3. 使用料

施設の使用料の全額（1回平均4,000円程度）を補助

◇事業予算 5,760千円



問い合わせ：子ども未来部 保育支援課長 電話 03-5742-6540

在宅での子育てを応援

～一時預かりを行う「オアシスルーム」2カ所新規オープン～

◇事業目的

区では、在宅で子育てをしている保護者がリフレッシュや通院等の場合に、子どもの一時預かりを行うオアシスルーム(生活支援型一時保育)を区内10カ所で展開している。利用者が年々増加する中、在宅子育て家庭へのさらなる支援拡充を図る。

◇事業内容

保育園等に通っていない生後4カ月～就学前の健康な児童を対象に、4月に新規施設を開設する。利用料は1時間500円で、事前登録が必要。

1. 平塚ゆうゆうプラザオアシスルーム【新規】

- (1) 所在地 平塚 2-10-20
平塚高齢者多世代交流支援施設(平塚ゆうゆうプラザ)内
- (2) 定員 12人
- (3) 開室時間 月～土曜日(午前9時～午後6時)
- (4) 運営方法 運営委託

2. 戸越オアシスルーム【新規】

- (1) 所在地 戸越 6-8-4
賃貸マンション1階のテナント区画を区が借上げ
- (2) 定員 12人
- (3) 開室時間 月～土曜日(午前9時～午後6時)
- (4) 運営方法 運営委託

◇事業予算

56,972千円

| | | |
|------|------------------|----------|
| (内訳) | 平塚ゆうゆうプラザオアシスルーム | 25,432千円 |
| | 戸越オアシスルーム | 31,540千円 |



品川区役所内オアシスルームの様子

問い合わせ：子ども未来部 保育支援課長 電話 03-5742-6540

【新規】74言語で利用者へ案内・相談対応 ～児童センター・子ども家庭支援センターの国際化対応～

◇事業目的

児童センターでは、外国籍の児童とその保護者の利用が年々増えており、外国語でのコミュニケーションの必要性が高まっている。また、子ども家庭支援センターにおいても児童家庭相談の件数増に伴い外国人の相談および訪問も増加し、外国人との意思の疎通にケースワーカーが苦慮している。

◇事業内容

74言語に対応できるオンライン翻訳端末を導入し、日本語を母国語としない利用者に対し全ての職員が誰でも同じように的確な対応を行えるようにする。さらに、外国人へのサービス向上、情報発信を推進する。

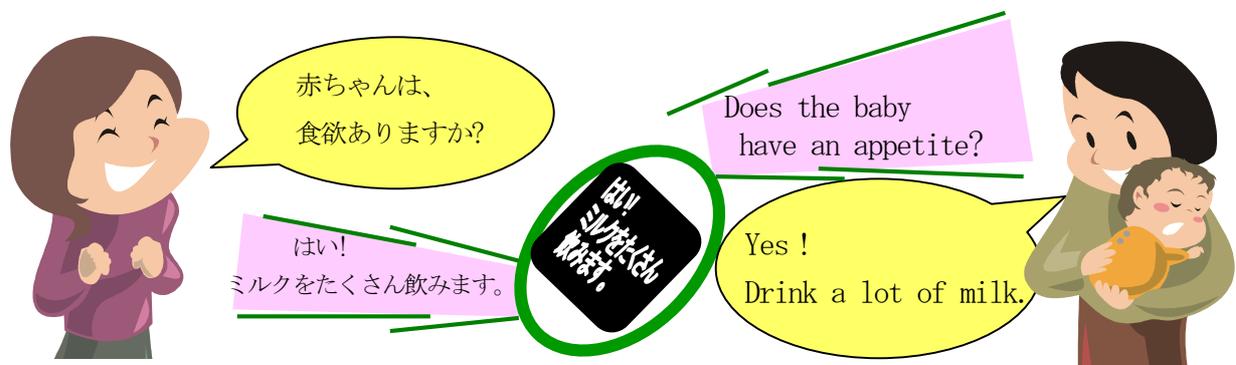
1. 児童センター

外国語を使用する利用者が特に多い 小関児童センター、八潮児童センター の2館に試験的に配置、利用実態を検証し次年度の配備拡大を検討する。

2. 子ども家庭支援センター

区役所内の子ども家庭支援センターと、子育て支援センターに配置し、外国人宅への家庭訪問および面接時の円滑なコミュニケーションを図る。

◇事業予算 219千円



問い合わせ：子ども未来部 子ども育成課長 電話 03-5742-6719

安全・安心な教育環境へ 学校と幼稚園の改築

◇事業目的

学校などの教育施設は、児童・生徒・幼児の学習の場であり、一日の大半を過ごす生活の場であると同時に、災害時には地域住民の避難所としても活用することから、その安全性の確保は重要である。

このため、学校および幼稚園施設を改築し安全・安心で良好な教育環境をつくる。

◇事業内容

1. 芳水小学校の改築

2018年度に引き続き、外構を含む改築工事を行う。(2020年5月：竣工)

2. 城南小学校および城南幼稚園の改築

2018年度に引き続き、改築工事を行う。(2020年2月：校舎改築工事 竣工)
校舎竣工後、既存校舎解体・外構工事等に着手する。

3. 後地小学校の改築

2018年度に引き続き、改築工事を行う。(2020年2月：校舎改築工事 竣工)
校舎竣工後、外構工事等に着手する。

4. 鮫浜小学校の改築

8月より校舎改築工事を行う。(2021年7月：校舎改築工事 竣工)

5. 浜川小学校および浜川幼稚園の改築

改築工事に伴う実施設計を行う。
2020年度からの改築工事に備え、既存プール解体工事を行う。

6. 第四日野小学校の改築

改築工事に伴う基本設計を行う。
(2020年度に実施設計)

7. 既存校の調査検討

今後の整備について調査検討を行う。



後地小学校完成予想図

◇事業予算

(内訳)

| | |
|--------------------|-------------|
| 10,527,589千円 | |
| 芳水小学校改築工事等 | 351,720千円 |
| 城南小学校・城南幼稚園改築工事等 | 4,210,738千円 |
| 後地小学校改築工事等 | 4,249,351千円 |
| 鮫浜小学校改築工事等 | 1,422,000千円 |
| 浜川小学校・浜川幼稚園改築実施設計等 | 208,900千円 |
| 第四日野小学校改築基本設計等 | 75,480千円 |
| 既存校調査検討 | 9,400千円 |

問い合わせ：(学校) 教育委員会事務局 庶務課長
(幼稚園) 子ども未来部 保育施設調整担当課長

電話 03-5742-6822
電話 03-5742-6037

新たな学区域・学校選択制の周知

◇事業目的

品川区学事制度審議会(※)の答申を受け、現行の区立学校の学区域および学校選択制を再構築することにより、品川教育の取組みの柱である「義務教育9年間の一貫教育」と、「地域とともにある学校づくり」のさらなる充実を図る。

学区域については、1つの小学校から進学する中学校が複数に分かれないように、中学校・義務教育学校(後期課程)の学区域を見直し、連携する小学校とグループ化する。

学校選択制については、小学校入学時の学校選択において、ブロック制を廃止して、住所地の学区域に隣接する学校から選択する仕組みにする。

(※)区立学校の教育に関する制度などを審議し、結果を答申する検討機関。2016年10月に設置され、2018年3月に答申が出された。

◇事業内容

2020年度からの新制度スタートに向け、2019年度は説明会の実施やパンフレットの配布など、保護者・学校関係者・地域住民へ幅広く周知を行う。

1. 周知用パンフレットの配布

新たな学区域および学校選択制の内容についてまとめたパンフレットを作成し、未就学児を含む児童・生徒、その保護者、地域、区内出先施設等へ幅広く配布する。

2. 地域説明会

一貫教育の連携グループ単位(中学校・義務教育学校15校)で地域ごとに学区域の変更などに関する説明会を実施する。



◇事業予算 9,643千円

| | |
|---------------------|---------|
| (内訳) 新制度周知用パンフレット作成 | 1,442千円 |
| 説明会支援業務委託 | 8,201千円 |

問い合わせ：教育委員会事務局 学校制度担当課長 電話 03-5742-6045

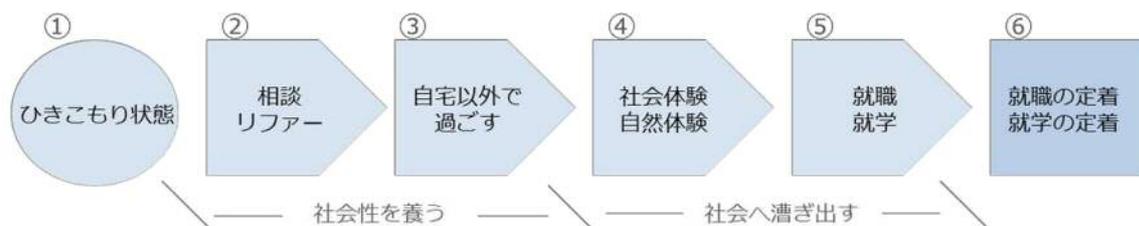
さまざまな困難を抱える子どもや若者を応援します！

～子ども・若者応援事業の拡充と社会福祉協議会と連携した新たな若者支援～

◇事業目的

不登校・ひきこもり等の子ども・若者と家族支援を支援するため「子ども若者応援フリースペースの支援プログラム」を拡充する。また、社会福祉協議会と連携し、若者の社会参加を応援する支援プログラムを強化し、本人の状態に応じた段階的支援を行う。

◇事業内容



1. 子ども・若者応援事業（運営：子ども若者応援ネットワーク）【拡充】

子ども若者応援フリースペース（中延 2-2-13 3F）の開設日を週 3 回から 5 回に増設し、居場所としての取り組みのみならず、個別的プログラムを展開する。

- (1) 対象となる支援プログラム：②～⑥
- (2) 個別的プログラム：女子会、家族支援、利用者による企画編集会議

2. 若者社会参加応援事業（運営：品川区社会福祉協議会）

社会福祉協議会において、社会福祉ネットワークを活用し個別的プログラムを実施する。

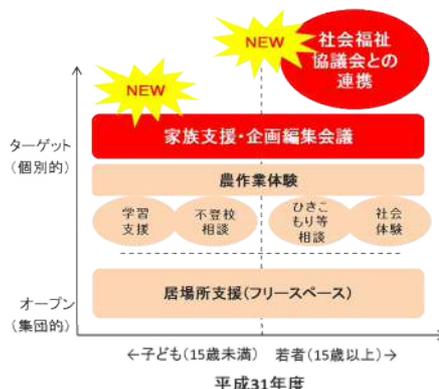
- (1) 対象となる支援プログラム：④～⑥
- (2) 社会福祉ネットワークの活用
- (3) 秋田県藤里町社会福祉協議会と連携
*ひきこもりを地域の力に変える『藤里方式』

◇事業予算

27,994千円

(内訳)

| | |
|-------------|----------|
| フリースペース拡充 | 23,164千円 |
| 社会福祉協議会との連携 | 4,830千円 |



問い合わせ：子ども未来部 子ども育成課長 電話 03-5742-6719

しながわネウボラネットワーク事業 子育てネウボラ相談をさらに身近に

◇事業目的

子どもを安心して健やかに産み育てるために、妊娠・出産・育児の切れ目のない仕組み「しながわネウボラネットワーク」の一環として、看護師、教員、保育士などの資格を有する「子育てネウボラ相談員」を児童センター5館に配置し、乳幼児保護者からの子育て全般の相談、子育てサービス情報の提供や他機関の紹介を行っている。2019年度は、さらに身近で気軽に相談できる環境を整えるため配置センターを拡大する。

◇事業内容

子育てネウボラ相談員の配置を5館から9館に拡大する。また、ネウボラネットワーク事業の認知度向上のために、グッズ製作・配布、新規配置館へ看板の設置を行い、周知を図る。

<現在の相談員配置場所>

東品川、大井倉田、平塚、富士見台、八潮各児童センター

<2019年度新規相談員配置場所>

三ツ木、水神、旗の台、ゆたか各児童センター

◇事業予算

32,317千円

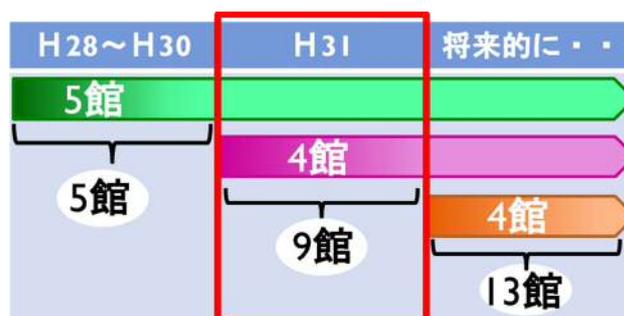
(内訳)

人件費

31,191千円

事務費

1,126千円



子育てネウボラ相談員配置の推移



相談員配置館に設置している看板

問い合わせ：子ども未来部 子ども育成課長 電話 03-5742-6719

【新規】ジュニアスポーツフェスタの開催

◇事業目的

子どもたちのスポーツに対する興味と関心を高め、日常生活の中にスポーツを取り入れるために、様々なスポーツを体験できるイベントを開催し、少年少女スポーツの振興を図る。

◇事業内容

幼児から小学生およびその保護者を対象に、ジュニアスポーツフェスタを開催する。

1. スポーツ種目

野球・サッカー・バスケットボール・バレーボール・キックベースボール等

2. 会場

しながわ中央公園

3. 指導者

(公財)品川区スポーツ協会加盟団体および区内少年少女スポーツ団体の育成者

4. スポーツ教室

トップアスリートを招き、直接指導を受けることができる教室を実施する。

◇事業予算 8,085千円



問い合わせ：文化スポーツ振興部 スポーツ推進課長 電話 03-5742-6591